

アドバンス ADVANCE

平成26年度 1年A組

弥生 / 11

学級通信 129号

～ 一歩前へ進もう～

あれから4年

今日は3月11日。カレンダーを見ても何も書いてはありませんが、日本にいたら忘れてはいけない大切な日です。先週の金曜日の道德の時に「3月11日は何の日か」と聞いたらすぐにみんなが答えてくれたので、みんなの意識の中にしっかりと残っているのだなと思いました。3月11日は、東日本大震災が起こった日です。

4年前、みんなは小学校の3年生だったので、きっと記憶もあまり残っていない人が多いでしょう。被害の多かった地域と比べてこの地域はあまり被害がなかったため、大きな災害があったという意識があまりないかもしれません。そこで、道德の時間に、4年たって少し大きくなったみんなに、津波の様子や震災があった後の町の様子を映像で見せました。書いてもらった感想を見ると、当たり前な日常が突然亡くなってしまうことの恐ろしさや、普段からの心構えや訓練の大切さ、そしてたくさんの大きな悲しみに気づくことができ、とてもよかったです。



震災から4年がたち、みんなは小学3年生から中学1年生になりました。もちろん、それぞれに抱えている悩みはあるとは思いますが、日常生活で大きく困ることは無いかなと思います。でも被災された人たちの中には、まだまだ不自由な生活を強いられていたり、家族がバラバラに生活をしていたり、元の生活に戻れない人もいます。そんな現状に対して、みんなはどんなことができるでしょう。

もちろん、募金をしたりボランティアをしたりということは、被災された人たちにとってはとても大

切なことだと思います。けれどまだまだ子どものみんなにとっては、簡単なことではありません。だから無理にそんなことをしろ、とは言いません。それよりもみんなにできることが2つあると思います。1つは災害のことを知ること。もう1つは想像することです。

この間、映像を見て、みんなは知らなかった震災のことを知りました。大変な状況なのにマナーを守っていた人がいたことや助け合っていた人の言葉に、感動した人も多かったです。知ること、考え方が変わり、行動が変わります。それはきっとどこかでつながっていて、誰かの助けになる時が来ます。そして想像しましょう。被災された人たちのことや、自分の身に起きたらどうするか。想像すればきっと誰かを思いやる行動ができるようになります。

遠い異国の話でも遠い昔の話でもありません。たった4年前の日本の話です。今日はきっと新聞やニュースでもたくさん取り上げられると思うので、この機会に怖がらないでいろいろなることを知る1日にしてください。

